



国際ロータリー第2680地区
Rotary
加古川ロータリークラブ



2018-19年度RI会長: パリー・ラシン / 地区ガバナー: 矢野 宗司
加古川ロータリークラブ会長: 岡田 義則 / 幹事: 水川 典明
〒675-0064 兵庫県加古川市加古川町満之口800番地 加古川商工会議所会館5F
TEL 079-423-0661 FAX 079-423-0677 e-Mail kakogawa@rotaryclub.ne.jp

平成30年7月17日(火) 晴 No. 3



水川幹事クラブ協議会 ▲



会長挨拶 ▲



鎮西環境保全委員長 ▲

会長挨拶

会長 岡田 義則

今日第3火曜日は私の月に一度の検診日として、朝一番に採血がある為、神大医学部付属病院には車で行っていましたが、いつも診察は早く終わって例会には余裕で間に合うのですが今日に限って患者さんが多かったのか診察が終わったのは11時でした。それからいつものように会計するのに30分待たされるとなると、車では少しの渋滞が起こっても例会に遅れる可能性がありました。『よし！会計も後にし、車も後で取りに来ることにして電車に乗ろう！』そしてタクシーで無事神戸駅に到着！そして11時25分の新快速に乗れたと思った途端に先発の車両に異常が発見されて停車、『うそでしょ？(冷や汗)』最良の選択肢が一瞬にして裏目にでてしまいました。幸い20分の停車で何とかギリギリ例会間に合いましたが何とも皮肉なお話でしょ？

こんな話を例会で話すつもりではなかったのですがその時、マーフィの法則を思い出したのでお話しすることにしました。急いでいる時に限って道路工事していたり、開かずの踏切に遭遇したり、スーパーのレジで早く進みそうな列を選んで並んだらどういふわけか一番遅くなったりした経験ありませんか？『落としたトーストがバターを塗った面を下にして着地する確率は、カーペットの値段に比例する』『失敗する余地があるなら失敗する』というのがマーシーの法則で、急いでいるときや大切なことがあるときに限って最悪のパターンになる。という法則のことです。一度ネットで検索してみてください。大変面白いですよ。

前置きが長くなったのですが、7月15日日曜日、地区のセミナーに参加してまいりました。午前中は危機管理セミナー、午後からは青少年奉仕セミナーと盛りだくさんの内容で10時30分からお昼1時間の食事時間を挟んで16時まで長時間のセミナーでした。従来は日にちを空け2日間に分けて行っていたのを遠方から何時間もかけて来られる方々を配慮して長時間ではありますが1日に集約したという矢野ガバナーの新しい試みであったとのことでした。忙しいロータリアンにとっては歓迎したい改革であると思いました。枝川副会長、鶴田青少年奉仕委員長、水川幹事、お疲れ様でした。

今日はその内容を少し掻い摘んでお話ししたいと思います。まず危機管理セミナーでは「クラブの危機管理と体制づくり」というテーマでのお話がありました。ロ

ロータリーにおける危機管理は「ロータリー青少年保護の手引き」を基として潜在的なリスクを特定し、危機管理の手順を前もって作成するという事。

危機管理の主な対象活動は、地区関係では(1)ロータリー青少年交換、(2)青少年奉仕委員会プログラム①インターアクト②ローターアクト③RYLA (3) 米山奨学生 (4) 財団奨学生、VTT、クラブ関係では(1)地区青少年活動プログラム関連事業(2)クラブ独自の青少年活動事業(3)他団体との共同青少年活動事業、となります。

事故、暴力、自然災害、政情不安、疾患の発生等、危機管理はクラブが活動をする限り必然的に必要となってきます。当クラブとしても昨年同様RIの指導や近隣クラブの動向を注視しながら今後の危機管理委員会の立ち上げを検討してゆきたいと思っております。

青少年奉仕セミナーではロータリー財団奨学生 山崎洋子さん、続いて明石西高校インターアクトクラブOG花田葵さんの体験談の後、青少年交換の帰国生4名の体験談と、これから派遣される8名がそれぞれの抱負と決意を発表されました。その発表を聞いて、海外での体験は彼らの人生において大きなカルチャーショックとして心に残り今後の人生に大きな影響を与えることになることは間違いないと確信いたしました。早速ネットで調べますと、1951年、日本人女性として初めて財団奨学生となったのはあの元国連難民高等弁務官、緒方貞子さんでした。「ロータリー奨学生として留学中、社会奉仕の重要性を学んだだけでなく、ロータリアンの方々の交流を通じて、見識を広め、さまざまな経験ができた」と『超私の奉仕』というロータリーのモットーに深い感銘を受け、以来、これが私の指針となりました」と緒方氏は語っておられます。参考までにネットの記事を紹介しましたが、その時、セミナー会場に来られている青少年の皆さんから緒方貞子さんのような偉大な方が出られることを期待した次第です。

さらにローターアクトの発表が続きますが、ちなみにローターアクトクラブとは18歳から30歳の青年男女で構成されています。2週間に1度例会を開き、個々の能力を高めるプログラム、会員相互の親睦を深めるプログラム、社会への奉仕活動などを行っています。ローターアクトクラブは現在2680地区では8クラブが活動をしています。ローターアクトクラブは地域を基盤とするものと、大学を基盤とする2種類の形があります。そして今年、加古川中央ロータリークラブが大学を基盤とするローターアクトクラブの設立を準備されています。最後にRYLAセミナー修了生の発表と今年のセミナーの予定の発表を持って終了となりました。会長の時間は以上です。

本日はこの後クラブ協議会となっています。各委員長様、そして幹事様宜しくお願ひいたします。

幹事報告

1) ☆他クラブニュース

例会変更のお知らせ

高砂 RC ◇8月17日(金)→休会[定款第8条第1節(C)]

高砂青松 RC ◇8月 8日(水)→早朝例会のため 午前6時30分～
於;十輪寺

◇8月15日(水)→休会[定款第8条第1節(C)]

◇8月29日(水)→武田契一先生講演会のため 午後1時30分～
於;高砂市文化会館 じょうとんばホール

加古川中央 RC ◇7月26日(木)→納涼例会のため 午後6時～ 於;人丸花壇

◇8月16日(木)→休会 (お盆休み)

◇9月13日(木)→尚齒例会のため 午後6時～

於;加古川プラザホテル1階ボールルーム

- 2) BOX にハイライト米山をいれております。
- 3) 地区よりこの度の集中豪雨についてお伺いがきております。
もし、会員の方で被害にあわれた方がいらっしゃいましたら、被害状況について御一報下さる様お願い致します。
- 4) 地区より映画「ブレス 幸せの呼吸」のご紹介です。この映画は英国のポリオサイバーの実話を書いたもので、映画に公開を機会としてロータリー内外でポリオ認識向上にご協力頂きたいということで、チラシを回覧させていただきます。チケットのまとめ買いやポスター・チラシが必要な場合は事務局までお問い合わせ下さい。
- 5) 次週は矢野ガバナー公式訪問です。
会員の皆様のご出席をお願い致します。

ニコニコ



- | | | | |
|---|---|---|--|
| 省 | 略 | ◎ | 7/15 地区セミナーにおいて枝川副会長・鶴田青少年奉仕委員長・水川幹事出席ありがとうございました。 |
| 省 | 略 | ◎ | 竹本様・先日はお世話になりました。 |
| 省 | 略 | ◎ | 本日のクラブ協議会、委員長さん初め会員の皆様、よろしくお願ひ致します。 |
| 省 | 略 | ◎ | 日曜日の青少年セミナー 鶴田会員、大変おつかれ様でした。 |
| 省 | 略 | ◎ | 浅原さん 先日は大変お世話になりました。ありがとうございました。 |
| 省 | 略 | ◎ | テーブルの花いただきます。 |
| 省 | 略 | ◎ | 先週、ロータリー旗を出し忘れておりました。以後気をつけます。 |

以上7件¥10,000-
本年度累計¥186,000-

出席委員会

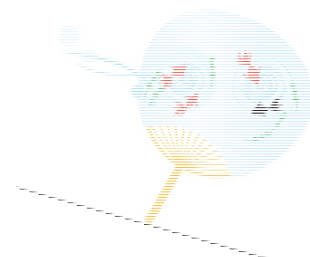
- | | | |
|-----|--------|---|
| ☆ 今 | 週 | 会員数 78名 出席 45名 出席免除 17名 欠席 16名 73.77% |
| ☆ 欠 | 席 | 者 省略 |
| ☆ 前 | 々 | 週 会員数 78名 出席 63名 出席免除 12名 欠席 3名 95.45% |
| ☆ | メークアップ | トンブリRC 7/11 保地
加古川平成 RC 7/11 大庫隆、大山、高浜、釜谷
2018-19 年度危機管理セミナー 7/15 岡田義、枝川、水川
2018-19 年度青少年奉仕セミナー 7/15 岡田義、水川、鶴田 |

親睦活動委員会

例会場当番

7月24日(火) 河合、中田

7月26日(木) 湖中、西井



本日7月17日(火)	7月24日(火)	7月31日(火)	8月7日(火)
クラブ協議会	ガバナー公式訪問	例会変更 「納涼例会」 26日午後6時～ 於;ホテルモントレ姫路	新会員自己紹介 宮地担当

各地で難民支援にあたるロータリアン

強制的に家を追われた人々 (単位: 百万) **65.6mil**
18歳未満の難民 (単位: 百万) **11 mil**

その数は驚異的といえます。

戦争、抑圧、貧困によって家を追われる人、毎日 28,000 人以上。これは、1 分に約 20 人が難民となっているということです。

2018 年 7 月 3 日現在、前例のない数となる **6,850 万人**が強制的に住むところを追われ、世界は歴史上最悪の難民危機に直面しています。移民・難民の波は国際社会を揺るがし、近隣諸国やヨーロッパでひずみをもたらすこともあります。トルコでは 300 万人近くを受け入れており、パキスタンがそれに続きます。受入国トップ 10 のうち唯一の先進国であるドイツでは、約 70 万人の難民や亡命希望者を受け入れています。



シリアでの内戦が難民発生の最大の原因となっており、2011 年の騒乱発生以来、**数百万人**が国を追われています。そのうち、子どもの数が非常に高く、半数以上が 18 才未満です。ロータリークラブは、難民キャンプに水や医療を提供するプロジェクトやより安全な国へ移動するための支援を通じて、難民危機の緩和に取り組んでいます。過去数年間、クラブや地区はグローバル補助金約 300 万ドルを使用し、難民関連のプロジェクトや奨学金を提供してきました。

毎年 6 月 20 日は「世界難民の日」に指定されており、安住の地を求めて家を追われる難民の力、勇気、その貢献に対し、世界中の人びとが敬意を表する日です。

以下に、数千人もの難民の生活を変えたロータリーの事例をご紹介します。

カナダ・ノバスコシア州のアマースト・ロータリークラブは、**シリアから 2 家族**を呼び寄せ、新しい生活を立て直す支援をしています。クラブは、他の地域団体に迅速に働きかけ、家族が町やその文化になじめるように支援しています。同じくカナダ・ブリティッシュ・コロンビア州の**メリット・ロータリークラブ**もシリアの家族をカナダへ呼び寄せるために資金を集めました。

ウガンダのナキバレ・ロータリークラブは、**ウガンダ最大級の難民施設「ナキバレ難民居住地」**の住民がビジネスを立ち上げ自立するための資金集めをしています。このクラブは、難民施設内に設立されており、難民に砂糖、石鹸や衣服も提供しています。

ドイツのロータリアン、ピア・スカラビス・クエルフェルド医師は、**ボランティアドクターのネットワークを構築**し、ベルリンに移動した数千の難民を支援しています。2015 年には、彼女の非営利団体であるメディスン・ヘルプ診療所で 100 人以上のボランティアが働いていました。また、ベルリン・ティアガーテン・ロータリークラブは、2018 年 3 月までにグローバル補助金 160,000 ドルを使用してプロジェクトを支え、同国のレムゴ・スターンブルグ・ロータリークラブは、約 600 人の難民を対象にドイツ語を教えるボランティア 60 人の研修の資金援助をしました。

第 2452 地区(レバノン)と第 6560 地区(米国インディアナ州)のロータリアンは、レバノン人の子ども 32 人、シリア難民の子ども 10 人に救命心臓手術を行うため、グローバル補助金 185,000 ドルを使用して手術の資金援助をしました。

ルワンダのキガリ・ビルンガ・ロータリークラブは、ドイツのドルトムント・ロータリークラブと協力し、ルワンダのガハラ・セクターの難民キャンプに井戸を掘る支援をしました。

ソウルと台北のロータリアンは、グローバル補助金 89,000 ドルを使用し、耳鼻咽喉科診断機器をソウルのラファエル診療所に提供しました。